

沖縄県緊急事態宣言延長に伴う宮古島市の対応について

沖縄県の緊急事態宣言期間は本日からさらに9月30日まで延長されます。

沖縄県は感染者数の減少傾向がみられるものの、小児感染者の増加や、重症者の減少が見られないこと、学校の再開やシルバーウィーク等の過ごし方から感染の拡大を懸念し、感染者の確実な減少と医療体制を守り抜くために改めて感染対策の徹底を呼びかけています。

宮古島市は、感染状況は落ち着いていますが県の呼びかけにあわせ、市民の皆様に引き続き感染対策の徹底をお願いします。

○人との接触の機会を引き続き減らしましょう。

現在宮古島市の感染状況や医療状況は落ち着いていますが、学校再開や活動が活発になると感染が急増する恐れがあります。特に島外からの帰省や渡航は緊急事態宣言中控えて下さい。

○子ども達の感染が拡大しています。子ども達の感染を防ぐため、家族全員の健康チェックを徹底し、少しでも体調に不良を感じる場合は家庭内でもマスクを着用し、家庭内隔離をして休養しましょう。

○接客業や建設業において感染が頻発しています。感染対策が徹底されていない飲食店や休業要請、時間短縮要請等に非協力的な店舗の利用はやめてください。

○ワクチン接種がまだの方は早めの接種をお願いします。

宮古島市はワクチン接種対象者の77%を超える方が一回目の接種を済ませています。ご協力頂いた宮古地区医師会をはじめ医療従事者の皆様、市民の皆様にあらためてお礼を申し上げます。一方で、若年層においてはまだ70%に達していませんので、引き続きワクチン接種に協力を宜しくをお願いします。

○市内感染状況や医療状況、ワクチン接種状況から、市民が利用する図

書館や公民館等の市公共施設の一部については感染対策を徹底しながら利用制限を緩和していきます。

観光施設等は緊急事態宣言中、利用制限を継続します。

長引く緊急事態宣言で市民の皆様や事業所の皆様においては、自粛疲れや閉塞感が強いことは承知しています。

国や県の動向を注視しながら緊急事態宣言の解除を見込んで、市内民間事業所や各団体と連携し、経済回復支援に取り組んでいきます。

県全体の中でも宮古島市は現在、ワクチン接種率も高く感染も抑えられている事から、早期の規制緩和を県に求めてまいります。

市民の皆様、事業所の皆様、一致団結して感染対策を徹底しながらこの期間を乗り切っていきましょう。